

内田孝志助役就任のごあいさつ



大東町仁和寺の内田孝志であります。

市民の皆様には、ご協力賜りますようどうかよろしくお願い申し上げます。

雲南の6町村が2年6カ月の協議期間を重ね合併し、新生「雲南市」が誕生しました。

合併した6町村はそれぞれ長い間、一自治体として歴史と文化を築き上げてきました。私達はその歴史と文化を大切にしながら、新たな雲南市としての歴史と文化を建設していくことが大切であると考えております。

現在、国において検討されている三位一体改革をはじめとする様々な改革は、好むと好まざるを関係なく、私達の生活、あるいは雲南市に重く振りかかってまいります。

厳しい情勢に置かれていることを認識しつつ、市民の皆様と手を携えて新生雲南市の建設に誠心誠意努力致して参りたいと存じます。

44歳の若さで米国大統領に就任したジョン・F・ケネディは、1961年1月20日の就任演説で「諸君のために、諸君の祖国が何をなすことができるかを問うのではなく、諸君こそ、祖国のために何をなすことができるかを問う」と国民に問いかけました。

今日、まさにこのことが私達に必要ではないでしょうか。

「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」をめざし、市民の皆様と行政との協働を進展させて参りたいと存じます。

市民の皆様のご健勝を祈念申し上げ、助役就任のごあいさつとさせていただきます。

影山喜文助役就任のごあいさつ



市民のみなさんこんにちは！新生雲南市の助役をおおせつかりました影山喜文でございます。微力ではありますが、が新市の均衡ある発展のために誠心誠意尽くしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、現在非常に大変な時代だという認識は私たち等しく感じていますが、現代日本のひずんだ経済や政治の仕組みを変えようと共、人間の生きざりを守り、それをより豊かにするための新しい仕組みづくりが求められているのではと考えています。

21世紀は共生の時代といわれており、都市と地方、人と自然という観点ももちろん重要だと思っていますが、あらためて家族の絆・地域の絆といった身近な共生も今一度振り返ってみる必要があるのではないのでしょうか。

雲南市は「新しい日本のふるさと」をめざしています。目に見える街並み・風景とともに、心の美しさ・やさしさ・安心感などまさしく生命と神話が息づくための努力が必要だと感じています。

そのためには、市民のみなさんとの協働によるまちづくりがたいへん大事だと考えています。さらに、今回の合併を機に職員のさらなる意識改革をすすめ、自治体の職員は住民の奉仕者だということを再認識し、住民の目線に立つて仕事をしなければなりません。

ゆっくりでいい。ほのぼのとやさしさに満ちた「日本一のふるさと」を、みなさんと一緒につくりあげていきたいと思っていますので、ご指導をいただきますとともにご協力・ご支援のほどよろしくお願い致します。

土江博昭教育長就任のごあいさつ



11月1日、新生「雲南市」が誕生してから早や2ヶ月が経ちました。

この間、暫定の教育長を拝命いたし、去る12月8日、臨時議会におきまして、議員各位のご同意を得、この度、12月9日付で雲南市初代の教育長に就任いたしました。

雲南市誕生という歴史的な節目に、そして、教育改革の大きな流れの中で、教育を取り巻く環境が様々な課題に直面している時期に、教育長を仰せつかりますことに使命の重さを痛感いたしております。

浅学非才な私にとりましては、重責ではございますが、誠心誠意、雲南市の教育の充実発展に努力いたす所存でございます。何とぞ市民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、教育行政におきましては、地方分権の流れが急速に進んでいる中、新しい市として、広い視野と新しい視点に立った、学校教育、社会教育（生涯学習）、家庭教育、芸術文化・スポーツの振興を図ることが重要と考えております。

そのためには、地域に根ざした教育行政の推進が必要であり、教育行政のみならず学校現場におきましても、これまで以上に説明責任を果たしていかなければなりません。

一層の情報公開、内外評価の実施と、経営的な感覚をもった教育行政の推進が必要と考えております。

これからの雲南市教育の推進にあたりましては、多くの皆様の英知とご努力が結集されております「新市建設計画」や「教育創造プロジェクト提案」を基に、その具現化を図るため、市民の皆様と協働の「人づくり・まちづくり」を進めていきたいと考えております。

「ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまち」をめざして、市民の皆様とともに歩んでまいりたいと思っております。どうかよろしくお願い申し上げます。